報道関係各位
プレスリリース　習い事／ものづくり／東京

株式会社類設計室
2026 年 6 月 25 日

「熱中症にならない建物を作ろう」

～酷暑にこどもが建築で挑む、こども建築塾～

「一級建築士と学ぶ、建築の仕事の世界」
7 月 28～30 日開催
【主催・株式会社類設計室】

株式会社類設計室（東京本社：東京都大田区蒲田５－３８－３　代表取締役社長：岩井裕介）は、2026 年 7 月 28 日（火）～30 日（木）の 3 日間、小学 4 年生～高校 3 年生を対象に一級建築士から建築の世界を学ぶ「こども建築塾」を東京本社 3 F「Soil」で開催します。

【概　要】

日　　程：7 月 28 日（火）29 日（水）30 日（木）
対　　象：小 4～高 3
時　　間：午前の部：10:00～12:30
午後の部：14:00～16:30
※同じ内容を 2 部制で開催します
内　　容：28 日：広い空間を作ろう＆東京事務所見学ツアー
29 日：熱中症にならない建物を作ろう！
30 日：プロからスケッチを学ぼう！
定　　員：各回 45 名
料　　金：3 日間参加 25,000 円（1 日参加 9,000 円）

開催場所：類設計室東京本社 3 階 Soil（東京都大田区蒲田５－３８－３蒲田朝日ビル　TEL03-5713-1012）
アクセス：JR 京浜東北線「蒲田駅」徒歩 3 分

申込ページ：https://shigototokyo202607.peatix.com/

保護者様はこちらの QR コードからも申し込みいただけます

取材申込〆切：2026 年 7 月 21 日（火）18 時

※本イベントは取材対応可能です。取材をご希望の方は以下のフォームよりお申し込みください。

メディア取材申込フォーム：https://tayori.com/f/kodomokenchikujuku202607/

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/

なぜ、建築で熱中症を防ぐのか

近年、日本各地で猛暑が続き、2026 年 4 月から「酷暑日」が正式な予報用語として制定されるなど、暑さへの対策が大きな社会課題となっています。総務省消防庁の調査によると、2025 年（5～9 月）の熱中症による救急搬送は全国 10 万 510 人と調査開始以来最多。発生場所では「住居」が 3 万 8292 人（38.1%）で最多となっています。（※１）そこで本講座では、建築が持つ暑さ対策の工夫を一級建築士と学び、粘土やアルミホイルなどを使って、素材による熱の伝わり方の違いを実験しながら、「熱中症にならない家」づくりに挑戦します。人工的に強い日差しを作り出す太陽光再現装置を使って、「屋根にはどんな素材を使えば日差しが防げる？」「窓にはどんな素材を使えば風を取り込める？」などを検証していきます。子どもたちの自由な発想と建築士の知見を掛け合わせ、「酷暑日」という社会課題に向き合います。そのほか、東京本社の社内見学や、一級建築士から学ぶスケッチ体験も実施します。

※１総務省消防庁「令和 7 年（5 月～9 月）の熱中症による救急搬送状況」から

イベントで実施するワーク

3 日間を通して建築の多様な魅力に触れるプログラムとなっています。

1 日目「広い空間を作ろう＆東京事務所見学ツアー」
「空間ってなんだろう？」というイメージを広げる模型制作ワークとなっています。「すずしい」「落ち着く」など、チームごとに引いたカードのテーマに沿って、自由な発想で空間づくりに挑戦します。また特別企画として、東京事務所の社内も開催します。

2 日目「熱中症にならない建物を作ろう」
建築が持つ暑さ対策の工夫を学ぶ実験ワークとなっています。
粘土やアルミホイルなどの身近な素材を使い、熱の伝わり方の違いを体験していきます。太陽光再現装置を使用し、日差しを防ぐ屋根や風を取り込む窓の素材を検証しながら、熱中症に負けない安心、安全な家づくりに挑戦していきます。

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/

3 日目「プロからスケッチを学ぼう！」
「長野オリンピックスタジアム」「本の森ちゅうおう」などをデザインした弊社一級建築士の佐藤賢志より、直接スケッチを学べる特別な講座となっています。弊社 3 階工房「Soil」をスケッチした後に、「遊びの工房」などといったテーマに挑戦します。現役一級建築士から直接アドバイスを受けながら、自由な発想をのびのびとスケッチで表現します。スケッチは夏休みの自由研究の成果物にピッタリです。

イベント概要

日　　程：7 月 28 日（火）29 日（水）30 日（木）
対　　象：小 4～高 3
時　　間：午前の部：10：00～12:30／午後の部：14:00～16:30　※同じ内容を 2 部制で開催します
内　　容：①広い空間を作ろう＆東京事務所見学ツアー
②熱中症にならない建物を作ろう！
③プロからスケッチを学ぼう！

定　　員：各回 45 名
料　　金：3 日間参加 25,000 円（1 日参加 9,000 円）

開催場所：類設計室東京本社 3 階（東京都大田区蒲田 5 － 3 8 － 3 蒲田朝日ビル　TEL03-5713-1012）
アクセス：JR 京浜東北線「蒲田駅」徒歩 3 分

当日登壇する講師陣の紹介

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/

弊社メイン講師

佐藤 賢志（東京設計事業部 計画設計部 部長/一級建築士）
<これまでに携わった物件>
長野冬季オリンピックメインスタジアム／本の森ちゅうおう など

峯川 満章（東京設計事業部意匠設計部　主任/一級建築士）
<これまでに携わった物件>
東京都江戸川区第三松江小学校／東京大学工学部 3 号館 など

米澤 星矢（東京設計事業部 設備設計部 主任/一級建築士）
<これまでに携わった物件>
葛飾区水元小学校／本の森ちゅうおう など

寺本 圭吾（構造設計部）
渡辺 大貴（設備設計部）
坂部 祐友（計画設計部）
その他、教育事業部からしごと学舎スタッフも多数参加を予定しています。

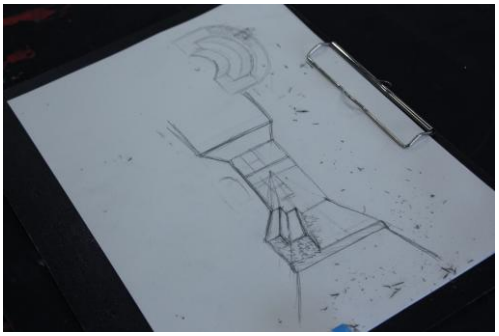
「こども建築塾」のこれまでの実績

約 3700 名が大阪のこども建築塾へ参加、満足度 90%以上を維持しています

こども建築塾は 2023 年から開講し 3 年が経過。現在も、模型作りや弊社が手掛けた物件の見学、スケッチ講座などバラエティに富んだカリキュラムを開催しています。

東京こども建築塾のこれまでの参加者数 300 名以上！ 昨年から東京にて本格開講を実施し、満足度 97%

これまでのこども建築塾では、「模型づくり」「施主へのヒアリング」「スケッチ」「光と素材でつくる空間デザイン」など、建築家の仕事を体験する講座を開催してきました。



昨年 7 月東京 3days
ダイジェスト動画あり

こども建築塾と株式会社類設計室について

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/

◆こども建築塾を開設した 3 つの背景

①一級建築士の 7 割が 50 代以上。少子化による建築業界の人手不足
公益社団法人日本建築士会連合会発表の資料によると、一級建築士の数は 38 万 3,923 人（令和 7 年 4 月時点）、平成 31 年以降は横ばいで推移しています（※１）。

国土交通省が発表するデータ（建築事務所に所属する一級建築士の数）によると、50 代以上が全体の約 70%を占め、20 代～30 代に至っては全体の 11%に留まっています。これらの理由から、設計事務所として事業をスタートした当社にとって未来の建築士を育てることは使命であると考えています。

※１公益社団法人　日本建築士会連合会「建築士の登録内容の確認等　閲覧・資格証明に関する内容　４.その他　一級建築士登録状況」から

②理系人材の育成が喫緊の課題。デジタルもリアルも使いこなせる大人に
日本では現在、2030 年に IT 人材が最大 79 万人不足するという試算があり、デジタル人材の育成が喫緊の課題となっています。そこで国と文科省は、理工農系の人材を育成しようと大学・大学院を拡充する支援事業を展開。これを受けて建築を学ぶことへの注目度も高くなっています。デジタルに特化した人材は増えると予想しますが、自分で「見て」「触って」「作る」というリアルな体験なくして建築に携わるのは難しいと考えています。そこで当塾では座学だけでなく、「粘土や紙で模型を作る」「身の回りのものを測る」「かんな削りや彫刻に取り組む」「野山にツリ－ハウスを設計する」など体験（リアル）を重視したカリキュラムを用意し、デジタル・リアル両方に精通した人材を育成します。

③教育事業を 50 年続ける会社として、「新しい学び方」を提案
当社には「類塾プラス」という教育事業部があり、勉強中心の学習塾が求められる時代からシフトしようと新たな事業を提案していました。その中で、自社所有林を持っていること、「仕事」体験を本格的に取り入れている「フリースクール」事業、そして当社の「設計」事業、それぞれの強みが生かせる事業として、こども建築塾を立ち上げました。カリキュラムには第一線で活躍する「建築のプロ」の実演はもちろん、当社の設計室で行うインターン（3 年目）も組み入れています。当塾を通して「プロの現場」そして、実際の「仕事の場」を体感でき、知識を詰め込むだけではない「新しい学び」を提案します。

◆類設計室について

主催の株式会社類設計室は 1972 年創業。祖業である設計事業部は数多くの中大規模建築の設計を手掛け、教育施設・文教施設・企業研究施設など多くの実績を誇ります（下記例）。
【中央区立図書館 郷土資料館「本の森 ちゅうおう」】（2023 年度グッドデザイン賞、第 23 回緑化技術コンクール 国土交通大臣賞（緑化施設部門））

【中央区立晴海地域交流センター「はるみらい」】

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/

また大阪本社では教育事業「類塾プラス」を 50 年にわたり運営し、これまでに 15 万人の卒塾生を社会に送り出しています。また、「こども起業塾」でのキャリア教育アワード受賞をはじめ、こどもたちが実社会とつながる学びを評価していただいています。つまり、設計事業と教育事業を追求し展開し続けてきた、最前線で活躍する現役の一級建築士と教育のプロたちがいる企業です。“頭と心で学ぶ”、本格的なプログラムでこれからの未来を担う人材を育てます。

中央区立図書館「本の森 ちゅうおう」写真：小松正樹

中央区立晴海地域交流センター「はるみらい」写真：小島康敬

会社概要

活力ある社会をめざして、株式会社類設計室（読み：るいせっけいしつ）は、21 世紀を牽引するお客様の戦略パートナーとして活力あふれる空間を設計しています。さらに「社会の活力を生み出す」という視点から、新しい教育・農業にも取り組んでいます。

＜会社概要＞
ミッション　：活力ある社会を設計する
会社名　：株式会社　類設計室
設立　：1972 年

代表取締役社長：岩井　裕介
所在地　：大阪府大阪市淀川区西中島 4-3-2　類ビル（大阪本社）
　：東京都大田区蒲田　5-38-3　蒲田朝日ビル（東京本社）
事業内容　：設計事業部　類設計室、営繕事業部、教育事業部「類塾プラス」「類学舎」「自然学舎」「しごと学舎」、農園事業部　類農園、地域共創事業部　類宅配の 5 業態を展開しています。

URL：https://www.rui.ne.jp/

●お問い合わせ　株式会社類設計室 経営統括部 広報人材課
TEL：06-6305-2222　E-MAIL：kouhou@rui.ne.jp　https://www.rui.ne.jp/